

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 (2014.12) 平成25年度:50-53.

局所麻酔手術患者が術前訪問に求める情報

江崎 彩香, 玉置 渉, 南 友美, 山近 真実, 本間 敦

局所麻酔手術患者が術前訪問に求める情報

旭川医科大学病院 手術部ナースステーション

○江崎 彩香、玉置 渉、南 友美、山近 真実、本間 敦

【目的】

全身麻酔手術患者の術前訪問に関する研究は多く行われているが、局所麻酔手術患者の必要な情報を明らかにする研究は少ない。A病院手術部では、局所・全身麻酔共に、全身麻酔手術患者用パンフレットを使用し術前訪問を行っており、術前訪問で局所麻酔手術患者が必要な情報を十分に得られているかは明らかではない。よって、局所麻酔手術患者が術前に必要とする情報を明らかにし、術前訪問の説明内容の示唆を得る。

【方法】

1. 調査期間：2012年9～10月
2. 対象：局所麻酔下手術を受ける成人患者30名。
3. 調査方法：現行パンフレットを用い、精神的支援の1項目、患者が直接体験する3項目（手術室への移動、モニター装着、手術体位）、手術室環境についての3項目（看護師の服装、手術室入口、手術室の音楽）、手術安全についての2項目（感染予防、体内遺残）の全9項目を術前訪問にて説明。術後訪問で半構成的面接を実施。
4. 倫理的配慮：術前訪問時、同意書に署名を得た。尚、本研究はA病院倫理委員会の承認を得て行った。

【結果】

患者が最も必要としていた項目は精神的支援であり、次いで患者が直接体験する3項目、手術室環境についての3項目、手術安全についての2項目のであった。その他に患者が求める情報は、処置の苦痛、麻酔方法であった。

【考察】

手術を控えた多くの患者には、安心したいというニーズと、自分に起きつつあることを明確にしたいというニーズが存在する。現行の術前訪問での説明項目は、すべてにおいて必要という回答が60%を超え、中でも精神的支援では93%の人が必要とし、直接体験する3項目は、項目平均では81%の人が必要とした。精神的支援は、患者の安心したいというニーズを満たし、直接体験する内容は、患者の自分に起きつつあることを明確にしたいというニーズを満たしたため、必要という回答が多かったと考える。

手術室環境については、緊張の高まりや処置に意識が向き、必要という回答が項目平均で70%に止まったと考える。手術安全については、患者にとって直接体験することではなく、必要という回答が項目平均で67%に止まったと考える。その他に患者が求める情報は、患者が苦痛や不快と感じた内容で、これらは自分の身におきつつあることを明確にしたいというニーズのため、患者が必要としたと考える。

【まとめ】

局所麻酔手術患者は、現行の情報提供に加え、手術に伴う苦痛に関する情報を必要としていた。

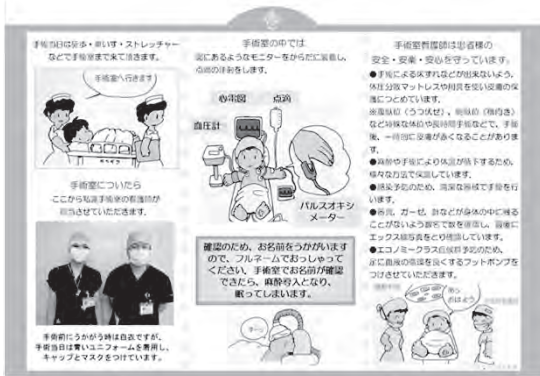
局所麻酔手術患者が術前訪問に求める情報

旭川医科大学病院 手術部ナースステーション
江崎彩香 玉置 渉 南 友美 山近真実 本間 敦

研究当時使用していたパンフレット



研究当時使用していたパンフレット



目的

局所麻酔手術患者が術前に必要とする情報を明らかにし、術前訪問の説明内容の示唆を得る

方法

対象：局所麻酔下手術を受ける成人患者30名
調査方法：パンフレットを用い術前訪問を実施

説明項目

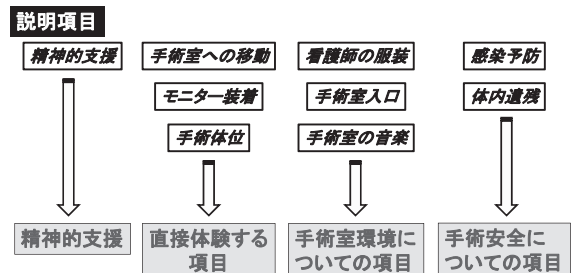
- | | | |
|--------|---------|--------|
| 精神的支援 | 手術室への移動 | モニター装着 |
| 手術体位 | 看護師の服装 | 手術室入口 |
| 手術室の音楽 | 感染予防 | 体内遺残 |

術後訪問で半構成的面接を実施

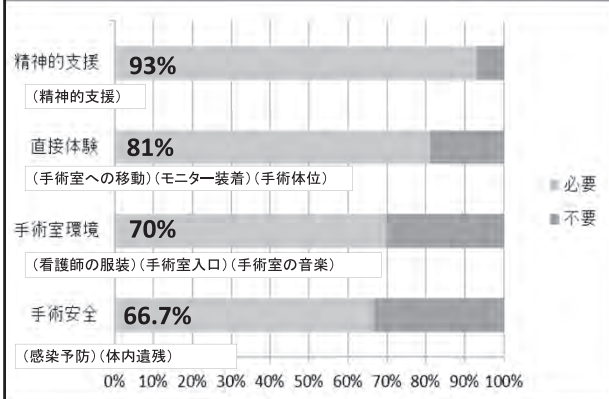
倫理的配慮：本研究はA医科大学倫理委員会の承認を得て実施

方法

分析方法：説明項目を4つに分類し、必要・不必要で単純集計



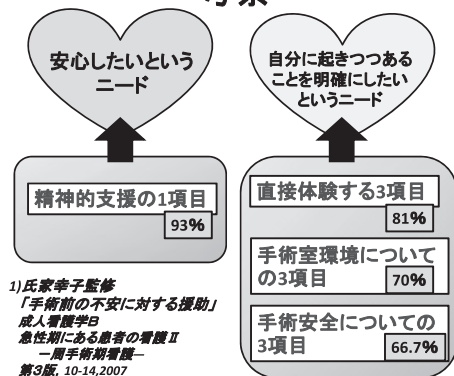
結果 説明項目の集計結果



結果 説明内容以外で知りたかったこと

- 洗眼時の疼痛(2名)
- 開瞼器の装着時の疼痛(1名)
- 手術操作による眼球圧迫時の疼痛(2名)
- 眼科手術での麻酔はどのように行うのか(1名)
- 時間の経過とともに室温が暑く感じたこと(1名)

考察

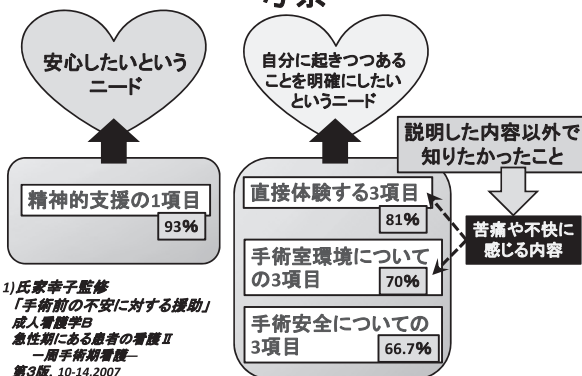


考察 説明内容以外で知りたかったこと

- 手術操作に伴う痛み
- 眼科手術での麻酔はどのように行うのか
- 時間の経過とともに室温が暑く感じた事

痛み・麻酔方法などの
患者が術中に苦痛や不快に感じる内容

考察



まとめ

局所麻酔手術患者が、術前に必要としている情報は、現行の術前訪問で提供している情報に加えて、術中に起こりうる苦痛や不快感に関する情報であった。



現在のパンフレット

超低温手箱を取り入れる皆様さんへ
手箱を安全に扱っていただくために
注意事項のご紹介をさせていただきます。

超低温手箱の取扱い

必ず確実に凍結確認

凍結確認：凍結・解凍・開閉、使用、メンテナンスの仕方に必ずご確認ください（特に凍結確認）。
凍結確認：必ず凍結確認が完了した上で、必ず「凍結確認完了」の表示を確認してください。

超低温手箱の取扱い

超低温手箱の取扱説明書、取扱要領書にご確認ください。特に、メンテナンスの取扱いには必ずご注意ください。

超低温手箱の中には、手箱が凍結した状態でも使用できる「凍結耐性手箱」があります。

凍結耐性・手箱凍結対策の必要性

凍結耐性手箱は、凍結耐性を有する手箱であり、凍結した状態で使用することができます。

超低温手箱への取扱い

凍結耐性手箱

凍結耐性手箱は、凍結耐性を有する手箱であり、凍結した状態で使用することができます。

凍結耐性手箱の取扱い

凍結耐性手箱の取扱説明書、取扱要領書にご確認ください。特に、メンテナンスの取扱いには必ずご注意ください。

凍結耐性手箱の取扱い

凍結耐性手箱の取扱説明書、取扱要領書にご確認ください。特に、メンテナンスの取扱いには必ずご注意ください。